

## (公社) 日本スカッシュ協会定時社員総会報告

### 公益社団法人日本スカッシュ協会

2021年6月27日に(公社)日本スカッシュ協会事務所会議室とWeb会議にて開催されました「公益社団法人日本スカッシュ協会 2021年度第1回定時社員総会」におきまして、下記の議事が検討されましたのでご報告致します。

#### 第1号議案 2020年度事業報告(案)及び財務諸表(案)承認の件

⇒満場一致で原案どおりこれを可決した。

#### 第2号議案 (公社)日本スカッシュ協会定款の一部変更の件

⇒定款の変更に必要な総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって原案どおりこれを可決した。

#### 第3号議案 2021年度役員(案)の一部変更承認の件

⇒理事1名より辞任届が提出され、補充が必要となり新規理事立候補1名を理事に選出を行った。

#### 第4号議案 2021年度正会員承認の件

⇒2021年度正会員は、原案通り承認確定した。

#### <報告事項>

- 1、2021年度事業計画並びに予算の報告
- 2、2021年度名誉総裁、顧問、運営委員、大会・委員会担当者報告
- 3、運営規則の一部変更報告
- 4、特定資産積立金についての内規報告
- 5、ワールドマスターズゲームズ2021関西について
- 6、2021全日本選手権について
- 7、ビジョン策定チームより報告
- 8、協会50周年記念について

## 2020年度 事業報告 (案)

公益社団法人日本スカッシュ協会

公益法人日本スカッシュ協会は、新型コロナウイルス感染拡大による困難な状況の中ではありますが、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開した。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

### 普及渉外委員会

#### ① ワールドスカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

共催：世界スカッシュ連盟

日程：<ワールドスカッシュデー> 2020年10月10日

参加：約100名(今回で21回目となり累計31,643名が参加)

内容：世界スカッシュ連盟からのテーマ「WHY I LOVE SQUASH」を日本中のスカッシュファンに問いかけ、スカッシュが好きな理由を掲げて共有した。

#### ② 大会等のスポンサー対策及び協賛の増進

残念ながらコロナ感染症の影響で中止になってしまったが全日本の協賛依頼を行った。

#### ③ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクト

大会会場でのPRは行えなかったが、事務所内にJOC環境ポスターの掲示を実施。次年度より「環境対策部会」として新たなプロジェクトを設立。

#### ④ エアースカッシュを活用したスカッシュPR事業

2020年度の開催はなかったが、年度明けての開催目指して計画、準備をした。

#### ⑤ 日本スポーツ協会加盟に向けて

神奈川県川崎市において、スカッシュ競技の普及・発展を目標に2017年3月に発足した川崎市スカッシュ協会が、2020年6月に正式川崎市スポーツ協会への加盟が正式に承認された。

### 広報委員会

#### ① 広報機関誌「SQUASH」の発行 (年2回)

<2020 年度日本スポーツ振興くじ助成事業>

Vol. 87 (夏の号) 8月20日発行

Vol. 88 (冬の号) 2021年3月20日発行

② 協会ホームページの運営と情報発信

協会ホームページにおいて、スカッシュの様々な情報を発信。

SNSを使用したニュースや、メディア情報発信。

③ コーチ座談会、企画と実施

④ 選手強化活動（イベント、トレーニング）の写真、動画を配信

**選手強化委員会**

コロナによる世界的なパンデミックにより、国内外においてほとんどの活動がストップした中でも、ナショナルチームによる活動を着々と実施。

① JSA 強化施策 情報提供とオンラインゲーム戦略指導

4月5月の2か月間にわたって、コーチが自己啓発を向けた情報を発信  
また、ゲーム理論の指導と回答に対する指導をした。

② 強化合宿、トレーニングセッションの開催

ア) ナショナルトレーニング

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

日程：7月12日 3名

日程：8月2日 2名

日程：8月30日 11名

日程：9月27日 5名（スカウト選手対象開催）

日程：10月31日 6名（スカウト選手2名含む）

日程：11月22日 6名（スカウト選手2名含む）

日程：12月27日 5名（スカウト選手2名含む）

イ) ナショナルトレーニング特別開催

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

日程：3月30日・31日

参加人数：30日 12名・31日 16名

備考：シニア特別強化指定選手の机龍之介選手によるスパーリング実施

③ Japan Squash All-Star Dream Match の開催

日程：11月8日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加選手：シニア 遠藤共峻・曾根直樹・机龍之介・杉本梨沙・渡邊聡美  
ジュニア 池田悠真・安成翔太・緑川あかり・渡邊安佑未

※郡司颯コーチ（林尚輝選手の怪我による欠場により急遽参加）

- ④ オンラインインテグリティ、アンチドーピングセッション  
コーチによる動画を選手全員が視聴し、レポートを提出した。
- ⑤ 女性アスリート向けオンラインセミナー  
聖路加病院の百枝幹雄医師を迎えて女性アスリートに関連する情報を専門的な知見からジュニア選手保護者、コーチに向けて講義頂いた。
- ⑥ JOC オリンピック有望選手を任命 オンラインにおける研修（5回）に参加  
男子 安成翔太 女子 渡邊安佑未（皆勤賞）
- ⑦ JOC 強化スタッフ（スカッシュ）を任命

### コーチ委員会

コロナの影響により、講習会等の活動は出来なかった。  
選手強化委員会から独立を進める。  
レベルⅠの教材と指導内容を改訂。  
JSAのコーチ資格保持者の名簿を協会ホームページに掲載すべく準備した。

### 競技委員会

- ① 公認大会の認定及びランキングの作成  
今年はコロナ感染対策の一環として全国各地の公認大会の開催は控えて頂いた。  
大会自粛期間におけるジャパンランキングの凍結について検討。  
\*ジュニアランキング（Under19・13）も同様とした。
- ② 大会ガイドラインの作成  
コロナ禍における感染対策を盛り込んだスカッシュの大会開催ガイドラインを作成して協会ホームページに発表。
- ③ 開催を予定した全日本選手権、その他ジュニア大会、公認大会主催者と協会で情報収集や検討と協議を重ね次年度へつなげた。

### レフリー委員会

コロナの影響により、講習会認定試験の実施はなかったが、競技委員会から独立を前提として委員を任命し再結成をした。

- ① レフリー委員会のメンバーを協会機関誌 88号にて紹介。
- ② レフリー委員のオンラインミーティングを開催。
- ③ 審判講習会の実技試験のビデオについて検討中。
- ④ 委員のスキルアップを目指しオンラインによるワークショップを開催

### 規則公認委員会

- ① スカッシュ競技の安全性や統一を図る為、世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認をになった。今年度は申請無し。

- ② スカッシュの規則公認に係る様々な問い合わせや質問にお答えした。
- ③ 「暴力・ハラスメント等相談窓口」案内を協会HPに掲載。

## 総務委員会

### ① 会員募集事業と管理

\*個人会員及び団体会費の募集、特にプレミアムパートナー会員の登録協力を依頼した。  
個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は(株)アプロードの「スポーツエントリー」と利用し、利便性を図っている。

※2021年度の会員募集は、コロナの影響により1ヶ月遅れの3月1日開始。  
ランキング継続希望者の登録は5月10日までとした。

### ② 団体会員の登録費請求と納入確認

### ③ スポーツ団体ガバナンスコード

適合性審査および自己説明の準備と遵守状況をHPに公表  
遵守に向けた「定款」及び「運営規則」の変更

### ④ 専門委員会の増設と会議体の改編について検討

- ・現在の5専門委員会を10委員会に増設。
- ・各委員会内での意見交換を活発にして、運営委員会の会議体をなくす。
- ・情報交換はTEAMSにて行う。
- ・(定款の変更) 運営委員会の会議体の条項を削除
- ・(運営規則の変更) 専門委員会増設する事による条項の追加

### ⑤ 財務担当活動

- ・公認会計士及び協会監事による会計監査を行い、2019年度財務諸表を理事会及び総会に図り承認。
- ・2020年度の経理入力および管理。
- ・コロナ関連の助成金の申請
  - ◇持続化給付金
  - ◇職業安定基金・雇用調整助成金
  - ◇家賃支援給付金
  - ◇東京都家賃保証
  - ◇コロナ継続事業給付金(日本スポーツ協会)
- ・2021年度の予算案の策定及び理事会での承認
- ・2020年度スカッシュ応援募金の報告と御礼
 

全日本ジュニア参加費返金寄付	141,280円	
JSA役員一同	630,000円	合計 771,280円
- ・(公財)ミズノスポーツ財団よりジュニア助成金に申請100万円を受領  
前年度ジュニア強化活動内容を報告。

- ・ J O C、 N F 強化活動助成の申請と調整。次年度の予算申請。

## ⑥ 国際担当活動

- ・ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、 P S A (プロ協会) と情報連携。
- ・ 世界スカッシュ連盟及びアジアスカッシュ連盟の総会出席及び報告。通達や、ルールの変更、大会スケジュール情報を収集し選手強化委員会に連携発信。
  
- ・ アジア競技大会に向けての国内外に向けたロビー活動。  
2026 年愛知・名古屋開催のアジア競技大会への競技入りに向けての情報収集に努めると同時に、開催地での会議に出席の中部支部との連携。

## ⑦ アスリート部会活動

- ・ コロナ下におけるアスリートの状況を把握し、 Japan Squash All-Star Dream Match の開催に協力した。  
次年度の活動内容と計画と要望を提出。

### 地区支部対策委員会

- ・ コロナ禍における各支部の活動状況を確認し、会長、常務理事、運営委員と状況と共有した。
- ・ 地区支部対策委員会にて全国の支部長とのミーティングを開催。
- ・ 全国の各支部と学連に、2020 年度活動報告・収支決算書及び 2021 年度活動案、予算案を提出いただき、2021 年度活動計画についてホームページにて発表。

### 学連

- ・ コロナ下における学連の状況を報告して、学連の公認大会の状況を把握したうえで協会登録費の減額を要請し、調整の上承認された。
- ・ 代理人の支援による方針が継続した形で運営できる様に努めた。  
今後の協会登録費の収集方法を検討して頂く。

### ◆ワールドマスタースゲームズ関西

コロナの影響で 2022 年 5 月に延期になったワールドマスタースゲームズ関西の大会開催に向けて京都市の実行委員会等と会議や会場選定対応を重ねている。

- ・ スカッシュコートや参加人数等のシミュレーションし調整を進めている。
- ・ 組織委員会からの情報や広報活動を連携している
- ・ ガラスコート設置を想定した現地調査、業者への図面見積もり提供を仲介。
- ・ 現地のスカッシュプレイヤーの会との連携

## ◆ 中長期計画ビジョン策定

- ・「中長期マーケティング戦略」策定完了

Vison : “To The Next Generation” ~新しい時代の幕開け~

Mission : “B. R. I. D. G. E.” 「過去・現在・未来…次世代への架け橋」

- ・現状把握の為のヒアリングを2回開催した。
- ・SWOT 分析を実施・分析を行い、ビジョン・ミッションに基づく運営指針を発表。
- ・2021 年度-22 年度へ切り替わる際にビジョン・ミッションに関する振り返りを実施し、PDCA に基づいて微調整を実施。更に専門委員会、地方支部会への告知と実施を行う。
- ・同時に JOC からの「経営基盤の安定・強化に向けた取組み」に関する確認シートの作成し、共有、提出をした。

## ◆ 創立 50 周年記念事業

(公社) 日本スカッシュ協会創立 50 周年記念事業を企画検討中

- ・協会主催大会と支部主催選手権にはサブタイトル付与依頼。  
「公益社団法人日本スカッシュ協会創立 50 周年記念事業」
- ・記念誌作成検討

## 2020 年度会員数 & 公認数

### <個人会員>

()は前年

会員種別	人数
正会員	36 名(36 名)
プロ選手会員	38 名(33 名)
プレミアムパートナー 会員(個人)	7 名 (6 名)
個人選手会員	426 名(613 名)
ジュニア会員	86 名(187 名)
一般会員	36 名(186 名)
レフリー・コーチ会員	23 名(30 名)
個人後援会員	3 名(2 名)
学連会員	278 名(771 名)

### <団体会員>

()は前年

会員種別	団体数
プレミアムパート ナー会員(団体)	5 件 13 口 (6 件 16 口)
団体会員	107(108)
準団体会員	24(25)
クラブチーム会員	26(24)

**個人会員 総合計 933 名 (1,864 名)**

### <個人会員と一般会員の支部別内訳>()は前年

支部名	個人選手会員	一般会員
北海道	19(30)	0(11)
東北	12(40)	1(21)
関東	240(335)	24(95)
中部	24(49)	1(13)
関西	63(76)	4(33)
中国四国	38(43)	6(8)
九州	30(40)	0(5)

### <2020 年度公認件数>

コート公認数	0 件
大会公認数(協会主催大会を除く)	0 大会
ボール公認数	1 件
コーチ公認更新数	21 件
レフリー公認更新数	20 件

(2021.3.31.)



# 決算報告書

自 令和 2年 4月 1日  
至 令和 3年 3月31日

公益社団法人 日本スカッシュ協会  
東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号  
Japan Sport Olympic Square

# 貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	28,379,187	26,884,506	1,494,681
棚 卸 資 産	34,590	22,203	12,387
前 払 金	0	504,835	△ 504,835
未 収 金	1,471,000	1,654,601	△ 183,601
流動資産合計	29,884,777	29,066,145	818,632
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定 期 預 金	15,432,092	15,432,092	0
基本財産合計	15,432,092	15,432,092	0
(2) 特定資産			
公益事業基金（大会開催）引当預金	7,200,000	7,200,000	0
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金	5,300,000	5,100,000	200,000
ス ポ ー ツ ラ ボ 引 当 預 金	4,000,000	4,000,000	0
感 染 防 止 対 策 等 引 当 預 金	3,000,000	0	3,000,000
退 職 給 付 引 当 預 金	600,000	500,000	100,000
特定資産合計	20,100,000	16,800,000	3,300,000
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	4,000,000	5,000,000	△ 1,000,000
保 証 金	378,000	378,000	0
その他固定資産合計	4,378,000	5,378,000	△ 1,000,000
固定資産合計	39,910,092	37,610,092	2,300,000
資産合計	69,794,869	66,676,237	3,118,632
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	1,339,306	1,531,410	△ 192,104
前 受 金	1,966,000	4,039,800	△ 2,073,800
預 り 金	35,000	215,315	△ 180,315
流動負債合計	3,340,306	5,786,525	△ 2,446,219
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	600,000	500,000	100,000
固定負債合計	600,000	500,000	100,000
負債合計	3,940,306	6,286,525	△ 2,346,219
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	65,854,563	60,389,712	5,464,851
（うち特定資産への充当額）	( 15,432,092)	( 15,432,092)	( 0)
正味財産合計	( 19,500,000)	( 16,300,000)	( 3,200,000)
負債及び正味財産合計	65,854,563	60,389,712	5,464,851
	69,794,869	66,676,237	3,118,632

# 正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 2,472]	[ 2,734]	[△ 262]
基本財産受取利息	2,472	2,734	△ 262
受取会費	[ 13,120,100]	[ 17,883,785]	[△ 4,763,685]
正会員受取会費	468,000	388,800	79,200
賛助会員個人受取会費	6,958,300	8,406,985	△ 1,448,685
賛助会員団体受取会費	4,688,800	5,334,800	△ 646,000
特別会員受取会費	0	975,000	△ 975,000
加盟金料	610,000	610,000	0
公認料	395,000	2,168,200	△ 1,773,200
事業収益	[ 350,164]	[ 13,562,281]	[△ 13,212,117]
補助金・委託金等収入	0	3,548,000	△ 3,548,000
協賛金収入	349,000	1,696,500	△ 1,347,500
入場料収入	0	225,000	△ 225,000
参加料収入	0	7,594,521	△ 7,594,521
その他の収入	1,164	141,160	△ 139,996
雑収入	0	357,100	△ 357,100
受取補助金等	[ 6,232,000]	[ 12,805,551]	[△ 6,573,551]
民間補助金収入	5,044,000	5,737,551	△ 693,551
国庫等助成金	1,188,000	7,068,000	△ 5,880,000
受取寄付金	[ 771,280]	[ 446,312]	[ 324,968]
受取寄付金	0	300,000	△ 300,000
募金収益	771,280	146,312	624,968
雑収益	[ 2,100,342]	[ 282]	[ 2,100,060]
受取利息	342	282	60
その他の	2,100,000	0	2,100,000
経常収益計	22,576,358	44,700,945	△ 22,124,587
(2) 経常費用			
事業費	[ 6,539,128]	[ 31,211,394]	[△ 24,672,266]
コート	192,500	1,517,786	△ 1,325,286
パンフ	0	551,430	△ 551,430
参加賞	0	588,596	△ 588,596
トロフィー・メダル	0	332,210	△ 332,210
保険代	64,240	45,240	19,000
交通費	620	192,352	△ 191,732
宿泊費	0	3,339,908	△ 3,339,908
郵送費	90,770	258,659	△ 167,889
雑費	2,128,607	3,291,424	△ 1,162,817
諸謝金	97,000	1,583,434	△ 1,486,434
旅費	0	477,325	△ 477,325
渡航費	0	1,982,344	△ 1,982,344
滞在費	0	2,307,197	△ 2,307,197
借料及び損料	132,000	1,336,050	△ 1,204,050
消耗品費	10,335	1,516	8,819
スポーツ用品費	0	211,420	△ 211,420
備用品費	43,560	29,700	13,860
印刷製本費	1,485,650	2,581,023	△ 1,095,373
通信運搬費	2,970	922,171	△ 919,201
会議費	0	4,000	△ 4,000
雑役務費	608,575	5,978,601	△ 5,370,026

科 目	当年度	前年度	増 減
保 險 料	0	178,546	△ 178,546
対 象 外 經 費	0	1,684,962	△ 1,684,962
減 価 却 費	1,000,000	1,000,000	0
給 付 金 支 出	600,600	815,500	△ 214,900
雑 支 出	81,701	0	81,701
管 理 費	[ 10,572,379]	[ 17,870,960]	[△ 7,298,581]
給 与 費	5,588,893	10,296,294	△ 4,707,401
旅 交 通 費	268,186	1,442,506	△ 1,174,320
通 信 運 搬 費	273,436	218,809	54,627
消 耗 什 器 備 品 費	948,473	547,788	400,685
印 刷 製 本 費	7,096	3,234	3,862
光 熱 水 料 費	57,789	94,484	△ 36,695
賃 借 料	1,158,300	2,057,226	△ 898,926
社 会 保 險 料	987,190	1,513,971	△ 526,781
負 担 金 支 出	654,499	679,205	△ 24,706
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	150,000	0
公 益 法 人 関 連 費 用	284,290	264,000	20,290
登 記 費 用	118,100	74,730	43,370
雑 費	76,127	528,713	△ 452,586
經常費用計	17,111,507	49,082,354	△ 31,970,847
評価損益等調整前当期經常増減額	5,464,851	△ 4,381,409	9,846,260
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	5,464,851	△ 4,381,409	9,846,260
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,464,851	△ 4,381,409	9,846,260
一般正味財産期首残高	60,389,712	64,771,121	△ 4,381,409
一般正味財産期末残高	65,854,563	60,389,712	5,464,851
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	65,854,563	60,389,712	5,464,851

# 財産目録

令和 3年 3月31日現在

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
<b>(流動資産)</b>				
現金 預金	手元保管	運転資金として	24,973	
	普通預金	普通預金合計	26,898,949	
	三菱UFJ銀行 神田支店	運転資金として	4,961,648	
	三菱UFJ銀行 神田駅前支店	運転資金として	2,360	
	三井住友銀行 神田支店	運転資金として	299,737	
	みずほ銀行 神田支店	運転資金として	6,542,310	
	りそな銀行 神田支店	運転資金として	3,256,228	
	SMBC信託銀行 大手町支店	運転資金として	3,531,991	
	SMBC信託銀行 大手町支店	運転資金として (外貨)	444,492	
	城南信用金庫 青山支店	運転資金として	6,002,513	
	ゆうちょ銀行 神田局	運転資金として	1,857,670	
	定期預金	定期預金合計	1,455,265	
	三井住友銀行 神田支店	運転資金として	1,317,289	
	りそな銀行 神田支店	運転資金として	104,215	
	SMBC信託銀行 大手町支店	運転資金として	22,612	
	三菱UFJ銀行 神田支店	運転資金として	11,149	
	棚卸資産	手元保管	公益目的事業分 (本・ビデオ) 及び 法人会計分 (切手) として	34,590
未収金 その他	JOC補助金・会費等	公益目的事業分として	1,471,000	
<b>流動資産合計</b>			<b>29,884,777</b>	
<b>(固定資産)</b>				
基本財産	定期預金	定期預金合計	15,432,092	
		三菱UFJ銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	5,102,860
		りそな銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	8,309,208
		SMBC信託銀行 大手町支店	公益目的事業の不可欠特定財産として 運用益を管理費の財源に充当	2,020,024
	特定資産	公益事業基金 (大会 開催) 引当預金	公益事業基金 (大会開催) 引当預金合計	7,200,000
		三菱UFJ銀行 神田駅前支店	特定費用準備資金として	2,100,000
		三井住友銀行 神田支店	特定費用準備資金として	3,400,000
		ゆうちょ銀行 神田局	特定費用準備資金として	1,700,000
		トレセン建設	トレセン建設引当預金合計	5,300,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	引当預金	三菱UFJ銀行 神田支店	公益目的事業分として	200,000
		三菱UFJ銀行 神田駅前支店	公益目的事業分として	1,500,000
		三井住友銀行 神田支店	公益目的事業分として	3,600,000
	スポーツラボ 引当預金		スポーツラボ引当預金合計	4,000,000
	感染防止対策等 引当預金	三菱UFJ銀行 神田支店	公益目的事業分として	3,200,000
		三井住友銀行 神田支店	公益目的事業分として	800,000
			感染防止対策等引当預金合計	3,000,000
	退職給付引当預金	三菱UFJ銀行 神田支店	公益目的事業分として	3,000,000
			退職給付引当預金合計	600,000
		三菱UFJ銀行 神田支店	法人会計・管理費分として	600,000
什器備品 保証金	4面ガラスコート 事務所保証金	公益目的事業分として	4,000,000	
		公益目的保有財産として(20%)	378,000	
		公益目的事業の不可欠特定財産として(80%)		
固定資産合計				39,910,092
資産合計				69,794,869
(流動負債)				
	未払金	3月分給料 その他	未払金合計	1,339,306
			法人会計・管理費分として 法人会計・管理費分として	622,614 716,692
	前受金	次年度会費	前受金合計	1,966,000
			公益目的事業分として	1,966,000
	預り金	賞金	公益目的事業分として	35,000
公益目的事業分として			35,000	
流動負債合計				3,340,306
(固定負債)				
	退職給付引当金		法人会計・管理費分として	600,000
固定負債合計				600,000
負債合計				3,940,306
正味財産				65,854,563

正味財産増減計算書内訳表  
令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位：円)

科 目	公益目的事業			合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2,472 ]	[ 2,472 ]
基本財産受取利息	0	0	2,472	2,472
受取会費	[ 6,560,050 ]	[ 0 ]	[ 6,560,050 ]	[ 13,120,100 ]
正会員受取会費	234,000	0	234,000	468,000
賛助会員個人受取会費	3,479,150	0	3,479,150	6,958,300
賛助会員団体受取会費	2,344,400	0	2,344,400	4,688,800
加盟料	305,000	0	305,000	610,000
公認料	197,500	0	197,500	395,000
事業収益	[ 350,164 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 350,164 ]
協賛金収入	349,000	0	0	349,000
その他の収入	1,164	0	0	1,164
受取補助金等	[ 6,232,000 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 6,232,000 ]
民間補助金収入	5,044,000	0	0	5,044,000
国庫補助金	1,188,000	0	0	1,188,000
受取寄付金	[ 771,280 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 771,280 ]
募金収益	771,280	0	0	771,280
雑収益	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2,100,342 ]	[ 2,100,342 ]
受取利息	0	0	342	342
その他の	0	0	2,100,000	2,100,000
経常収益計	13,913,494	0	8,662,864	22,576,358
(2) 経常費用				
事業費	[ 6,539,128 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 6,539,128 ]
コトフイ	192,500	0	0	192,500
保険	64,240	0	0	64,240
交通	620	0	0	620
郵便	90,770	0	0	90,770
雑費	2,128,607	0	0	2,128,607
諸借料	97,000	0	0	97,000
材料及び損	132,000	0	0	132,000
消耗品	10,335	0	0	10,335
備品	43,560	0	0	43,560
印刷製本	1,485,650	0	0	1,485,650
通信運搬	2,970	0	0	2,970
雑役務	608,575	0	0	608,575
減価償却	1,000,000	0	0	1,000,000
給付金	600,600	0	0	600,600
雑支	81,701	0	0	81,701
管 理 費	[ 7,431,493 ]	[ 0 ]	[ 3,140,886 ]	[ 10,572,379 ]
給旅費	4,471,115	0	1,117,778	5,588,893
交通	214,549	0	53,637	268,186
通信	218,749	0	54,687	273,436
消耗什器備品	758,779	0	189,694	948,473
印刷製本	5,677	0	1,419	7,096
光熱水料	46,232	0	11,557	57,789
貸借料	926,640	0	231,660	1,158,300
社会保険	789,752	0	197,438	987,190
負担金	0	0	654,499	654,499
公認会計士他費用	0	0	150,000	150,000
公益法人関連費用	0	0	284,290	284,290
登記費	0	0	118,100	118,100
雑費	0	0	76,127	76,127
経常費用計	13,970,621	0	3,140,886	17,111,507
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 57,127	0	5,521,978	5,464,851
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 57,127	0	5,521,978	5,464,851
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 ----- 移動平均法による原価法  
 (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 ----- 先入先出法による原価法  
 (3) 固定資産の減価償却の方法 ----- 定額法  
 (4) 引当金の計上基準  
     退職給付引当金 ----- 職員退職金の支払に備えて職員退職給与規定に基づく  
     期末における自己都合要支給額を計上している。  
 (5) 消費税等の会計処理 ----- 税込方式によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	15,432,092	0	0	15,432,092
小計	15,432,092	0	0	15,432,092
特定資産				
大会開催引当預金	7,200,000	0	0	7,200,000
トレセン建設引当預金	5,100,000	200,000	0	5,300,000
スポーツラボ引当預金	4,000,000	0	0	4,000,000
感染防止対策等引当預金	0	3,000,000	0	3,000,000
退職給付引当預金	500,000	100,000	0	600,000
小計	16,800,000	3,300,000	0	20,100,000
合 計	32,232,092	3,300,000	0	35,532,092

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	15,432,092	( 0 )	( 15,432,092 )	( 0 )
小計	15,432,092	( 0 )	( 15,432,092 )	( 0 )
特定資産				
大会開催引当預金	7,200,000	( 0 )	( 7,200,000 )	( 0 )
トレセン建設引当預金	5,300,000	( 0 )	( 5,300,000 )	( 0 )
スポーツラボ引当預金	4,000,000	( 0 )	( 4,000,000 )	( 0 )
感染防止対策等引当預金	3,000,000	( 0 )	( 3,000,000 )	( 0 )
退職給付引当預金	600,000	( 0 )	( 0 )	( 600,000 )
小計	20,100,000	( 0 )	( 19,500,000 )	( 600,000 )
合 計	35,532,092	( 0 )	( 31,732,092 )	( 600,000 )



科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 57,127	0	5,521,978	5,464,851
当期一般正味財産増減額	△ 57,127	0	5,521,978	5,464,851
一般正味財産期首残高	△ 18,349,785	0	78,739,497	60,389,712
一般正味財産期末残高	△ 18,406,912	0	84,261,475	65,854,563
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 18,406,912	0	84,261,475	65,854,563

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	7,065,023	3,065,023	4,000,000

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
<b>委託金</b>						
選手強化NF事業助成金	日本オリンピック委員会	0	0	0	0	—
小計		0	0	0	0	
<b>補助金</b>						
選手強化交付金	日本オリンピック委員会	0	3,268,000	3,268,000	0	—
ジュニア育成助成金	ミズノスポーツ振興財団	0	1,000,000	1,000,000	0	—
スポーツ事業継続支援補助金	日本スポーツ協会	0	776,000	776,000	0	—
小計		0	5,044,000	5,044,000	0	
<b>助成金</b>						
スポーツ振興基金助成金	日本スポーツ振興センター	0	0	0	0	—
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	1,188,000	1,188,000	0	—
小計		0	1,188,000	1,188,000	0	
合計		0	6,232,000	6,232,000	0	

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及び残高」に記載のとおりである。

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	500,000	100,000	-	-	600,000

## 独立監査人の監査報告書

令和 3 年 5 月 6 日

公益社団法人 日本スカッシュ協会  
理事会 御中

十川公認会計士事務所

公認会計士

十川 稔 

### <財務諸表監査>

#### 監査意見

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの令和 2 年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドライン I - 5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、すべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これは、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。

- ・ 財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### <財産目録に対する意見>

##### 財産目録に対する監査意見

私は、貴社団法人の委嘱に基づき、公益社団法人日本スカッシュ協会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

##### 財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

##### 財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

##### 利害関係

公益社団法人日本スカッシュ協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 監 査 報 告 書

2021年5月6日

公益社団法人日本スカッシュ協会  
会長 北澤 猛 殿

公益社団法人 日本スカッシュ協会

監事 友清 敏和   
監事 山岸 和彦 

私たち監事は、公益社団法人日本スカッシュ協会の2020年4月1日から2021年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その結果を次のとおり報告いたします。

## 1. 監査方法及びその内容

- (1) 理事の職務並びに事業報告及びその附属明細書の監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧その他必要と思われる監査手続きを実施して、理事の職務の遂行並びに事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討しました。
- (2) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録の監査については、独立監査人から監査実施状況及び結果について報告を受け、財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録を検討しました。

## 2. 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書に関する監査結果  
事業報告及び附属明細書は、法令又は定款に従い当法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関する監査結果  
当法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査結果  
財務諸表及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。また、独立監査人の監査方法及び結果は、相当であると認めます。

以上

# 収支計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	[ 10,000]	[ 2,472]	[ 7,528]
基本財産利息収入	10,000	2,472	7,528
会費収入	[ 29,040,300]	[ 13,120,100]	[ 15,920,200]
正会員会費収入	429,000	468,000	△ 39,000
賛助会員個人会費	10,946,500	6,958,300	3,988,200
賛助会員団体会費	9,388,800	4,688,800	4,700,000
特別会員費	5,000,000	0	5,000,000
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	2,666,000	395,000	2,271,000
事業収入	[ 14,317,590]	[ 350,164]	[ 13,967,426]
補助金・委託金等収入	2,000,000	0	2,000,000
協賛金収入	3,092,400	349,000	2,743,400
入場料収入	225,000	0	225,000
参加料収入	8,103,890	0	8,103,890
その他収入	396,300	1,164	395,136
雑収入	500,000	0	500,000
補助金等収入	[ 8,394,000]	[ 6,232,000]	[ 2,162,000]
民間補助金収入	3,700,000	5,044,000	△ 1,344,000
国庫等助成金	4,694,000	1,188,000	3,506,000
寄付金収入	[ 500,000]	[ 771,280]	[△ 271,280]
募金収入	500,000	771,280	△ 271,280
雑収入	[ 1,000]	[ 2,100,342]	[△ 2,099,342]
受取利息	1,000	342	658
その他	0	2,100,000	△ 2,100,000
事業活動収入計	52,262,890	22,576,358	29,686,532
2. 事業活動支出			
事業費	[ 38,441,681]	[ 5,551,715]	[ 32,889,966]
コートフィット	4,263,500	192,500	4,071,000
パンフレット	380,320	0	380,320
参加賞	490,000	0	490,000
トロフィー・メダル	293,000	0	293,000
保険代	26,500	64,240	△ 37,740
交通費	321,500	620	320,880
宿泊費	244,400	0	244,400
郵送費	218,000	103,357	114,643
雑費	814,400	2,128,607	△ 1,314,207
諸謝金	3,187,100	97,000	3,090,100
旅費	378,025	0	378,025
渡航費	3,587,020	0	3,587,020
滞在費	2,672,500	0	2,672,500
借料及び損料	660,300	132,000	528,300
消耗品費	326,500	10,335	316,165
スポーツ用品費	511,420	0	511,420
備用品費	250,000	43,560	206,440
印刷費	6,824,331	1,485,650	5,338,681
通信費	1,130,419	2,970	1,127,449
会議費	150,000	0	150,000
会費	7,886,243	608,575	7,277,668
雑費	52,000	0	52,000
その他	500,000	0	500,000

科 目	予算額	決算額	差 異
対 象 外 経 費	1,606,203	0	1,606,203
給 付 金 支 出	988,000	600,600	387,400
雑 支 出	680,000	81,701	598,299
管 理 費	[ 19,521,209]	[ 10,472,179]	[ 9,049,030]
給 旅 費 交 通 費 与	10,023,360	5,488,893	4,534,467
通 信 ・ 運 搬 費	900,000	268,186	631,814
会 議 費	50,000	0	50,000
消 耗 什 器 備 品 費	500,000	948,473	△ 448,473
印 刷 製 本 費	417,849	7,096	410,753
光 熱 水 料 費	250,000	57,789	192,211
賃 借 料	3,000,000	1,158,300	1,841,700
社 会 保 険 料	2,000,000	987,190	1,012,810
負 担 金 支 出	700,000	654,499	45,501
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	150,000	0
公 益 法 人 関 連 費 用	250,000	284,290	△ 34,290
登 記 費 用	150,000	118,100	31,900
雑 費	600,000	76,127	523,873
そ の 他 の 支 出	[ 1,000,000]	[ 0]	[ 1,000,000]
そ の 他 の 支 出	1,000,000	0	1,000,000
事業活動支出計	58,962,890	16,023,894	42,938,996
事業活動収支差額	△ 6,700,000	6,552,464	△ 13,252,464
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特 定 預 金 取 崩 収 入	[ 7,000,000]	[ 0]	[ 7,000,000]
公益事業基金（大会開催）引当預金取崩収入	7,000,000	0	7,000,000
投資活動収入計	7,000,000	0	7,000,000
2. 投資活動支出			
特 定 預 金 支 出	[ 300,000]	[ 3,300,000]	[△ 3,000,000]
退 職 給 付 引 当 預 金 支 出	100,000	100,000	0
ト レ セ ン 建 設 引 当 預 金 支 出	200,000	200,000	0
感 染 防 止 対 策 等 引 当 預 金 支 出	0	3,000,000	△ 3,000,000
投資活動支出計	300,000	3,300,000	△ 3,000,000
投資活動収支差額	6,700,000	△ 3,300,000	10,000,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	3,252,464	△ 3,252,464
前期繰越収支差額	0	23,257,417	△ 23,257,417
次期繰越収支差額	0	26,509,881	△ 26,509,881



収支計算書内訳表

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位:円)

科 目	公益目的事業	収益事業	法人会計	合 計
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2,472 ]	[ 2,472 ]
基本財産利息収入	0	0	2,472	2,472
会費収入	[ 6,560,050 ]	[ 0 ]	[ 6,560,050 ]	[ 13,120,100 ]
正会員会費収入	234,000	0	234,000	468,000
賛助会員個人会費	3,479,150	0	3,479,150	6,958,300
賛助会員団体会費	2,344,400	0	2,344,400	4,688,800
加加盟金	305,000	0	305,000	610,000
公認料	197,500	0	197,500	395,000
事業収入	[ 350,164 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 350,164 ]
協賛金収入	349,000	0	0	349,000
その他の収入	1,164	0	0	1,164
補助金等収入	[ 6,232,000 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 6,232,000 ]
民間補助金収入	5,044,000	0	0	5,044,000
国庫等助成金	1,188,000	0	0	1,188,000
寄付金収入	[ 771,280 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 771,280 ]
募金収入	771,280	0	0	771,280
雑収入	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2,100,342 ]	[ 2,100,342 ]
受取利息	0	0	342	342
その他の	0	0	2,100,000	2,100,000
事業活動収入計	13,913,494	0	8,662,864	22,576,358
2. 事業活動支出				
事業費	[ 5,551,715 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 5,551,715 ]
コトフイ	192,500	0	0	192,500
保険除	64,240	0	0	64,240
交通	620	0	0	620
郵便送	103,357	0	0	103,357
雑費	2,128,607	0	0	2,128,607
諸謝金	97,000	0	0	97,000
借料及び損	132,000	0	0	132,000
消耗品	10,335	0	0	10,335
備品	43,560	0	0	43,560
印刷製本	1,485,650	0	0	1,485,650
通信運搬	2,970	0	0	2,970
雑役務	608,575	0	0	608,575
給付金支	600,600	0	0	600,600
雑支	81,701	0	0	81,701
管 理 費	[ 7,351,333 ]	[ 0 ]	[ 3,120,846 ]	[ 10,472,179 ]
給与	4,391,115	0	1,097,778	5,488,893
旅費	214,549	0	53,637	268,186
通信搬	218,589	0	54,647	273,236
消耗什器備品	758,779	0	189,694	948,473
印刷製本	5,677	0	1,419	7,096
光熱水料	46,232	0	11,557	57,789
賃借料	926,640	0	231,660	1,158,300
社 会 保 険 料	789,752	0	197,438	987,190
負担金	0	0	654,499	654,499
公認会計士他費用	0	0	150,000	150,000
公益法人関連費	0	0	284,290	284,290
登記費	0	0	118,100	118,100
雑費	0	0	76,127	76,127
事業活動支出計	12,903,048	0	3,120,846	16,023,894
事業活動収支差額	1,010,446	0	5,542,018	6,552,464
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特定預金支出	[ 3,200,000 ]	[ 0 ]	[ 100,000 ]	[ 3,300,000 ]
退職給付引当預金支出	0	0	100,000	100,000
トレン建設引当預金支出	200,000	0	0	200,000
感染防止対策等引当預金支出	3,000,000	0	0	3,000,000
投資活動支出計	3,200,000	0	100,000	3,300,000

科 目	合 計			
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
投資活動収支差額	△ 3,200,000	0	△ 100,000	△ 3,300,000
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	△ 2,189,554	0	5,442,018	3,252,464
前期繰越収支差額	△ 25,794,743	0	49,052,160	23,257,417
次期繰越収支差額	△ 27,984,297	0	54,494,178	26,509,881

## 収支計算書に対する注記

### 1. 資金の範囲

資金の範囲 ----- 現金預金、未収金、未払金、前払金、前受金、仮払金、仮受金、預り金

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	26,884,506	26,379,187
前払金	504,835	0
未収金	1,654,601	1,471,000
合 計(1)	29,043,942	27,850,187
未払金	1,531,410	1,339,306
前受金	4,039,800	1,966,000
預り金	215,315	35,000
合 計(2)	5,786,525	3,340,306
次期繰越収支差額(1)－(2)	23,257,417	24,509,881

公益社団法人日本スカッシュ協会定款の一部変更

定款変更の新旧対照表

新 (変更後)	旧 (変更前)
<p>第2章 目的及び事業 (事業)</p> <p>第4条</p> <p>2 <u>削除</u></p> <p>第4章 社員総会 (議決)</p> <p>第17条</p> <p>2 前項の事項にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の<u>議決権</u>の3分の2以上に当たる多数をもって行う。</p> <p>第5章 役員</p> <p>第23条</p> <p>この法人が保有する株式(出資)について、その株式(出資)に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数(現在数)の3分の2以上<u>の承認</u>を要する。</p> <p>第6章 理事会 (運営委員会)</p> <p>第35条</p> <p><u>全文削除</u></p>	<p>第2章 目的及び事業 (事業)</p> <p>第4条</p> <p>2 前項第1号の事業は、日本全国において行うものとする。</p> <p>第4章 社員総会 (議決)</p> <p>第17条</p> <p>2 前項の事項にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。</p> <p>第5章 役員</p> <p>第23条</p> <p>この法人が保有する株式(出資)について、その株式(出資)に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数(現在数)の3分の2の承認を要する。</p> <p>第6章 理事会 (運営委員会)</p> <p>第35条 この法人に運営委員会を置く。</p> <p>2 前項の委員会は、常務理事と運営委員で構成する。</p> <p>3 第1項の委員会は、次に掲げる事項を行う。</p> <p>(1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。</p> <p>(2) この法人の理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善について、理事会に参考意見を提出すること。</p> <p>(3) この法人の事業に従事する者からの法令違反行為等に関する通報に対して適切な処理を行うため、公益通報の窓口を設置・運用し、管理すること。</p> <p>4 第1項の委員会の議事の運営の細則は理事会において定める。</p>

第7章 資産及び会計

(基本財産)

第36条

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならず、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会の承認を要する。

(事業計画及び収支予算)

第39条

この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始前までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。

第10章 補則

(運営規則)

第47条

この定款の施行並びにこの法人の組織及び運営に関する必要な細則は、理事会の議決により運営規則として別に定める。

第35条

第36条

第37条

第38条

第39条

第40条

第41条

第42条

第43条

第44条

第45条

第46条

第7章 資産及び会計

(基本財産)

第36条

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならず、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業計画及び収支予算)

第39条

この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始前までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、上記のとおりです。

(新設)

第36条

第37条

第38条

第39条

第40条

第41条

第42条

第43条

第44条

第45条

第46条

第47条

2021年度公益社団法人日本スカッシュ協会役員（案）

役職	再新任	氏名	職業・委員会等	任期	常勤・非常勤
理事(会長)	再任	北澤 猛	ゼビオホールディングス株式会社/取締役	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事(副会長)	再任	川原 貴	元国立スポーツ科学センター長 JOC選手強化本部情報・医・科学専門部会会長	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	潮木 仁	選手強化委員長 ㈱スポーツステーション・ジン/ 代表取締役社長 JOC選手強化本部委員	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	大根田 芳浩	競技委員長 大根田電機(株)/代表取締役社長	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	小幡 博	地区対策副委員長/北海道支部長 セントラルウェルネスクラブ札幌勤務/インストラクター	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	神谷 典子	(公社)日本スカッシュ協会/事務局長 総務委員長/ 国際担当 JOC総務本部委員	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	常勤
理事(常務理事)	再任	日向 孝知	規則公認委員長/広報委員 (株)システナ/フレームワークデザイン本部	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	宮城島眞知子	普及渉外委員長 (株)Be-Win /代表取締役社長 特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会 理事 JOCユニバーシアード委員	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	辞任	南部 吉秀	元キャノン株式会社/インクジェット事業部	令和2年6月定時総会日～ 令和3年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	岡部 道彦	広告代理店/総務部 HRMD	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	大谷 眞	地区支部委員長 株式会社内田洋行/首都圏営業部長	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	渡邊 祥広	T&Wカンパニー(株)/代表取締役	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	三枝 佳紀	セントラルスポーツ(株)/レジャー事業部長	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	師岡 文男	ワールドマスターズ関西組織委員会参与/日本ワールド ゲームズ協会執行理事/上智大学名誉教授/ スポーツ庁前参与/IWGA前理事/GASF元理事	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	柳谷 登志雄	順天堂大学 スポーツ健康学科准教授 日本陸上連盟JOC強化スタッフ	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	水嶋 章陽	九州医療スポーツ専門学校理事	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	出口 陽万	元関西支部支部長 AIG損害保険株式会社 勤務	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	麻野 琢也	円崎興業有限会社/取締役	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	植松 大介	学校法人後藤学園 武蔵丘短期大学/准教授	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	中川 慶之	広報委員長 株式会社モデル	令和2年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
理事候補	新任	江川 泰	元(公財)日本適合性認定協会勤務 現、東京都勤務 (公社)日本スカッシュ協会 事務局総務委員会 (予定)	令和3年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	常勤予定

監事	再任	友清 敏和	元持田シーメンスメディカルシステム(株)/ 取締役	平成30年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤
監事	再任	山岸 和彦	あさひ法律事務所/弁護士	平成30年6月定時総会日～ 令和4年定時総会終結日	非常勤

現在、役員に報酬・退職金等は支給しておらず、今後も支給する予定はない。

## 2021年度正会員名簿（案）

2021年度(39名)

氏名
小幡 博
鈴木 康之
柴田 亮介
熊田 康宏
大根田 芳浩
潮木 仁
濱野 昭彦
日向 孝知
古川 泰久
神谷 典子
松木 亮太
梶田 幸子
土田 博史
丹埜 倫
宮城島 眞知子
高橋 徹
町田 信行
岡田 真弥
吉田 隆二
吉永 正章

氏名
山下 丈一
石川 由華子
足立 美由紀
丹羽 拓史
高木 あきみ
崎浜 秀策
杉本 和子
二瓶 雅美
武本 清孝
芦谷 誠治
山本 大介
宮武 俊輔
吉田 尚弘
河原 健一
齋藤 智一
川原 貴
北澤 猛
岡部 道彦
大谷 眞

## 2021 年度事業計画

公益法人日本スカッシュ協会は、新型コロナウイルス感染拡大による困難な状況の中ではありますが、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開します。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

### ■公益社団法人日本スカッシュ協会主催大会（予定）

※2021 度の大会開催に関しましては、新型コロナ感染状況により、選手やスタッフの安全を考慮して開催の可否を決定致します。

- JSA ジュニアスカッシュオープン2021  
日程:6月26日・27日  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- 第32回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会  
日程:7月24日・25日  
会場:Greeting Squash Saitama
- 2021JSA ジュニアサマーチャレンジカップ（ジャパングニア代替大会）  
日程:8月8日～10日  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- 第26回マスタースカーニバル  
日程:10月上旬  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- 文部科学大臣杯争奪第50回全日本スカッシュ選手権大会(冠は予定)  
<令和3年度スポーツ振興基金助成申請>  
日程:令和4年3月4日～7日  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE &トレッサ横浜  
<4面ガラスコート設置開催予定>
- JOC ジュニアオリンピックカップ第24回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会(冠は予定)  
日程:令和4年3月下旬



① ワールドスカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社)日本スカッシュ協会

共催：世界スカッシュ連盟

日程：<ワールドスカッシュデー>2021年10月9日

<スカッシュデー>2021年10月2日~17日

内容：世界連盟と共に、世界中のスカッシュプレイヤーとスカッシュの魅力を共有。

② 大会等のスポンサー対策及び協賛の増進

コロナ感染症の影響続いておりますが、全日本等の協賛依頼を行う。

③ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクト

大会会場での PR や、事務所内に JOC 環境ポスターの掲示を実施。

今年度より「環境対策部会」として新たなプロジェクトを設立。

④ エアースカッシュを活用したスカッシュ PR 事業

2021 年度の開催予定

4/12 広島修道大学 (実施済み 30 名)

5/1.2 川崎アゼリア (中止)

5/3 川崎大師 (中止)

11/3 飯田氏「丘のまちフェスティバル」

1/1.2.3. 帝国ホテル

2/23 川崎市等々力アリーナ「中原スポーツまつり」

その他「ワールドスカッシュデー、スカッシュウィークの補助金」

関西支部「WMG に向けてのイベント」

中部支部「2026 年名古屋アジア大会に向けてのイベント」

\*6/20 現在でエアースカッシュ参加者はトータル 5,208 名です。

⑤ 日本スポーツ協会加盟に向けて

川崎市スカッシュ協会が、2020 年 6 月に正式川崎市スポーツ協会への加盟が正式に承認され、市の大型施設内へのスカッシュコートの導入に向けて活動を開始する。また、スポーツ協会加盟のマニュアル作成を行い多くの地域でスポーツ協会の加盟を促進させたい。

**広報委員会**

① 広報機関誌「SQUASH」の発行 (年 2 回予定)

<2021 年度日本スポーツ振興くじ助成事業>

Vol. 89 (夏の号) 8 月 20 日発行予定

Vol. 90 (冬の号) 2022 年 3 月 20 日発行予定

・来年度より web 配信も並行し情報提供できるよう検討

② 協会ホームページの運営と情報発信

協会ホームページにおいて、スカッシュの様々な情報を発信。

SNS を使用したニュースや、メディア情報発信。

③ コーチ座談会、企画と実施

④ 選手強化活動 (イベント、トレーニング) の写真、動画を配信

## 選手強化委員会

### ■海外派遣及び国内合宿(予定)

#### <海外派遣>

##### -----シニア部門-----

- アジアスカッシュ選手権(個人戦) パキスタン ⇒ 開催延期
- アジアスカッシュ選手権(団体戦) マレーシア・KL ⇒(日程変更) 11月16日~20日
- 東アジアスカッシュ選手権大会 台湾 ⇒ 情報なし
- 世界男子団体戦 ⇒ 12月にマレーシアにて予定

##### ---ジュニア部門---

- アジアジュニア個人戦 ⇒ 情報なし
- ペナンジュニアオープン ⇒ 派遣なし
- 香港ジュニアオープン ⇒ 派遣なし
- Korean Jr OP ⇒ 派遣なし
- アジアジュニア団体戦(香港) ⇒ 情報なし

#### <国内活動>

- サマーキャンプ 8月 ⇒ 中旬予定(1Day 開催)
- オータムキャンプ 10月
- ウインターキャンプ 12月
- ジュニアナショナル強化合宿 1月 保田
- ナショナル強化合宿 3月 保田
- ナショナルトレーニング 通年 ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- オンライン強化活動・アンチドーピング、インテグリティ講習

コロナによる世界的なパンデミックにより、国内外においてほとんどの活動がストップしていたが、ナショナルチームによる活動を着々と実施予定。

## コーチ委員会

- 選手強化委員会から独立した活動を進める。
- レベルTの教材と指導内容を改訂。
- レベル1の教材と講習内容を見直し。
- WSFのWSCの扱い検討
- JSAのコーチ資格保持者の名簿を協会ホームページに掲載する。

## 競技委員会

- ① 公認大会の認定及びランキングの作成

- ② 大会ガイドラインの作成  
コロナ禍における感染対策を盛り込んだスカッシュの大会開催ガイドラインを管理、運用し必要に応じて改版する。  
各公認大会の感染防止ガイドラインを確認する。
- ③ 開催を予定している全日本選手権、その他ジュニア大会、公認大会主催者と協会での情報収集や検討と協議を重ねる。

## レフリー委員会

競技委員会から独立して委員を任命し再結成の上、活動を開始する。

- ① レフリー委員のオンラインミーティングを開催。
- ② 審判講習会の実技試験のビデオについて検討中。
- ③ 委員のスキルアップを目指しオンラインによるワークショップを開催。

## 規則公認委員会

- ① スカッシュ競技の安全性や統一を図る為、世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行う。
- ② スカッシュの規則公認に係る様々な問い合わせや質問にお答えする。
- ③ 「暴力・ハラスメント等相談窓口」案内を協会HPに掲載中。

## 総務委員会

### ① 会員募集事業と管理

- \*個人会員及び団体会費の募集、特にプレミアムパートナー会員の登録協力を依頼する。  
個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロードの「スポーツエントリー」を利用し、会員情報を支部、大会へ提供。  
※2021年度の会員募集は、コロナの影響により3月1日開始。

### ② 団体会員の登録費請求と納入確認。

### ③ JOC, JADA, 等各加盟団体との連携。

- ・スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査に向けた整備

### ④ 会議の実施、専門委員会の増設と会議体の改編について検討

- ・現在の5専門委員会を10委員会に変更。
- ・運営委員会の廃止にともない各委員会を中心とした運営とその情報共有を可能とするTEAMSの構造を設定。
- ・委員会編成に伴う定款、運営規則の変更

### ⑤ 財務担当活動

- ・公認会計士及び協会監事による会計監査を行い、2020年度財務諸表を理事会及び総会に図り承認。
- ・2021年度の経理入力および管理。
- ・2022年度の予算案の策定及び理事会での承認
- ・各種助成金に関する調査、申請と報告業務。

## ⑥ 公益社団法人定期報告

### ⑦ 国際担当活動

- ・世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、PSA(プロ協会)と情報連携。
- ・世界スカッシュ連盟及びアジアスカッシュ連盟の総会出席及び報告。通達や、ルールの変更、大会スケジュール情報を収集し選手強化委員会に連携発信。
- ・アジア競技大会に向けての国内外に向けたロビー活動。  
2026年愛知・名古屋開催のアジア競技大会への競技入りに向けての情報収集に努めると同時に、開催地での会議に出席の中部支部との連携。

### ⑦ アスリート部会活動

- ・全日本選手権時期の移行に関して意見収集及び検討
- ・10月9日(土)ワールドスカッシュデーでのイベント企画
- ・地域貢献活動など
- ・国内で開催される(日本人選手のみ)のPSA大会のポイントのJSAランキングへの付与について。

## 地区支部対策委員会

- ① コロナ禍における大会開催に関する課題・解決策の共有
- ② 各地区支部の活動状況の共有
- ③ 地区支部の意見集約と常務理事会への提言・提案を行う
  - ・常務理事会にて協議される事案に対する、地区支部の意見集約
  - ・地区支部意見を集約し常務理事会への提言・提案の具申
- ④ 地区支部における会員数拡大のための施策検討

## 学連

- ・コロナ下における学連の状況を報告して、学連の公認大会を推進。
- ・代理人の支援による方針が継続した形で運営できる様に努める。  
今後の協会登録費の収集方法を検討していく。

## ◆ワールドマスターズゲームズ関西

- ・コロナの影響で2022年5月に延期になったワールドマスターズゲームズ関西の大会開催に向けて京都市の実行委員会等、関係団体と会議・打ち合わせを進め、準備を進めていく。
- ・募集人数310名を想定して募集再開のための要項の作成。
- ・スカッシュコートに対するや競技人数等の調整及び、プレ大会を開催し、競技会のスムーズな運営シミュレーションを行い、調整する。

- ・組織委員会や大会実行委員会からの情報を共有し広報活動をおこなう。
- ・関西支部および現地のスカッシュプレイヤーの会との連携
- ・大会運営に向けて京都スカッシュパーク（仮称）と連携、協議を行う。

#### ◆ 創立 50 周年記念事業

（公社）日本スカッシュ協会創立 50 周年記念事業を企画検討中

- ・協会主催大会と支部主催選手権にはサブタイトル付与依頼。
- 「公益社団法人日本スカッシュ協会創立 50 周年記念事業」
- ・記念誌作成検討

# 収支予算書

令和 3年 4月 1日から令和 4年 3月31日まで

公益社団法人 日本スカッシュ協会

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[ 3,000]	[ 10,000]	[△ 7,000]
基本財産受取利息	3,000	10,000	△ 7,000
受取会費	[ 9,149,000]	[ 29,040,300]	[△ 19,891,300]
正会員受取会費	468,000	429,000	39,000
賛助会員個人受取会費	5,232,000	10,946,500	△ 5,714,500
賛助会員団体受取会費	2,589,000	9,388,800	△ 6,799,800
特別会員受取会費	0	5,000,000	△ 5,000,000
加盟金	610,000	610,000	0
公認料	250,000	2,666,000	△ 2,416,000
事業収益	[ 14,332,454]	[ 14,317,590]	[ 14,864]
補助金・委託金等収入	3,000,000	2,000,000	1,000,000
協賛金収入	2,281,400	3,092,400	△ 811,000
入場料収入	225,000	225,000	0
参加料収入	6,886,900	8,103,890	△ 1,216,990
その他の収入	1,416,446	396,300	1,020,146
雑収入	522,708	500,000	22,708
受取補助金等	[ 12,161,000]	[ 8,394,000]	[ 3,767,000]
民間補助金収入	3,700,000	3,700,000	0
国庫等助成金	8,461,000	4,694,000	3,767,000
受取寄付金	[ 500,000]	[ 500,000]	[ 0]
募金収益	500,000	500,000	0
雑収益	[ 1,000]	[ 1,000]	[ 0]
受取利息	1,000	1,000	0
経常収益計	36,146,454	52,262,890	△ 16,116,436
(2) 経常費用			
事業費	[ 28,559,550]	[ 39,441,681]	[△ 10,882,131]
コートフィット	2,726,400	4,263,500	△ 1,537,100
パレンフレッツ	534,320	380,320	154,000
参加賞	649,000	490,000	159,000
トロフィ・メダル	967,470	293,000	674,470
保険代	78,100	26,500	51,600
交通費	13,000	321,500	△ 308,500
宿泊費	859,000	244,400	614,600
郵送費	129,500	218,000	△ 88,500
雑費	1,320,000	814,400	505,600
諸謝金	2,115,000	3,187,100	△ 1,072,100
旅費	379,525	378,025	1,500
渡航費	2,895,300	3,587,020	△ 691,720
滞在費	400,000	2,672,500	△ 2,272,500
借料及び損料	657,800	660,300	△ 2,500
消耗品費	95,178	326,500	△ 231,322
スポーツ用品費	211,420	511,420	△ 300,000
備品費	0	250,000	△ 250,000
印刷製本費	3,266,113	6,824,331	△ 3,558,218
通信運搬費	958,059	1,130,419	△ 172,360
会議費	0	150,000	△ 150,000
雑役務費	6,390,243	7,886,243	△ 1,496,000
保険料	0	52,000	△ 52,000
その他	0	500,000	△ 500,000

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
対 象 外 経 費	2,114,122	1,606,203	507,919
減 価 償 却 費	1,000,000	1,000,000	0
給 付 金 支 出	500,000	988,000	△ 488,000
雑 支 出	300,000	680,000	△ 380,000
管 理 費	[ 14,486,904]	[ 19,521,209]	[△ 5,034,305]
給 与 費	8,088,860	10,023,360	△ 1,934,500
旅 費 交 通 費	763,044	900,000	△ 136,956
通 信 ・ 運 搬 費	200,000	530,000	△ 330,000
会 議 費	25,000	50,000	△ 25,000
消 耗 什 器 備 品 費	500,000	500,000	0
印 刷 製 本 費	10,000	417,849	△ 407,849
光 熱 水 料 費	100,000	250,000	△ 150,000
賃 借 料	2,000,000	3,000,000	△ 1,000,000
社 会 保 険 料	1,300,000	2,000,000	△ 700,000
負 担 金 支 出	700,000	700,000	0
公 認 会 計 士 他 費 用	150,000	150,000	0
公 益 法 人 関 連 費 用	250,000	250,000	0
登 記 費 用	100,000	150,000	△ 50,000
雑 費	300,000	600,000	△ 300,000
経常費用計	43,046,454	58,962,890	△ 15,916,436
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,900,000	△ 6,700,000	△ 200,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,900,000	△ 6,700,000	△ 200,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,900,000	△ 6,700,000	△ 200,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△ 6,900,000	△ 6,700,000	△ 200,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 6,900,000	△ 6,700,000	△ 200,000

2021年度公益社団法人日本スカッシュ協会 名誉総裁・名誉会長・顧問 (案)

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
名誉総裁		高円宮承子女王殿下	
最高顧問	再任	猪谷 千春	国際オリンピック委員会名誉委員 NPO法人日本オリンピックアカデミー/最高顧問
名誉会長	再任	笠原 一也	元国立スポーツ科学センター長 NPO法人 日本オリンピック・アカデミー/前会長
顧 問	再任	藤ヶ崎 訥美	元(株)三声/代表取締役社長
顧 問	再任	岩崎 晃	元(株)日本テレビワーク24専務取締役
顧 問	再任	赤木 恭平	(公財)日本オリンピック委員会/名誉委員 NPO法人 日本ワールドゲームズ協会/会長
顧 問	再任	今村 正史	元コーンズドッドウェル(株)監査役
顧 問	再任	山東 昭子	参議院議員
顧 問	再任	鈴木けいすけ	衆議院議員
顧 問	新任	南部 吉秀	元キャノン株式会社/インクジェット事業本部



2021年度公益社団法人日本スカッシュ協会 運営委員（案）

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
運営委員	再任	柴田 亮介	東北支部
運営委員	再任	土田 博史	千葉県支部
運営委員	再任	吉永 正章	中部支部
運営委員	再任	足立 美由紀	関西支部長
運営委員	再任	芦谷 誠治	中国四国支部
運営委員	新任	宮武 俊輔	九州支部
運営委員	再任	丹埜 倫	会長推薦
運営委員	新任	松木 亮太	全日本学生連盟委員長
運営委員	再任	梶田 幸子	会長推薦
運営委員	再任	河原 健一	会長推薦
運営委員	再任	齋藤 智一	会長推薦

**<委員会>**

- 1) **規則公認委員会** 委員長/日向  
     <公認> 担当長/日向
- 2) **選手強化委員会** 委員長/潮木 副委員長/佐野 (マネージャー)  
     シニア担当/松本、佐野 ジュニア担当/佐野、吉留、横田  
     スカウトチーム担当/郡司、西村、横田 メディカル部門/神子 情報戦略/潮木、神谷  
     <アンチドーピング部会> 部会長/酒井、委員/川原、佐野、横田、西村 **委員募集中**
- 3) **コーチ委員会** 委員長/佐野、委員/潮木、足立、土田、吉留
- 4) **競技委員会** 委員長/大根田 副委員長/河原 委員/潮木 玉田  
     <マスターズ> 担当長/齋藤 委員/大根田
- 5) **レフリー委員会** 委員長/月岡 委員/浅野(裕)、大瀧、トーマス、古川、山崎、深見、安本、遠藤、  
     小島、丹羽、武本、芦谷、道下 アドバイザー/足立、潮木、佐野
- 6) **総務委員会** 委員長/神谷 副委員長/江川、丹埜 委員/事務局  
     <財務> 担当長/友清 委員/梶田、神谷 <国際> 担当長/神谷  
     <アスリート部会> 鈴木(優)、杉本
- 7) **地区支部対策委員会** 委員長/大谷 副委員長/小幡 委員/地区支部長
- 8) **広報委員会** 委員長/中川 副委員長/日向 委員/梶田、齋藤、
- 9) **学連委員会** 委員長/松木 副委員長/野田、味呑 関東委員長/木下  
     関西学連委員長/吉田
- 10) **普及渉外委員会** 委員長/宮城島 副委員長/常務理事  
     <環境対策部会> 部会長/ 副部会長/日向 委員/ 宮城島  
     <エアースカッシュ> 担当長/宮城島 副担当長/青柳  
     委員/大根田、日向、青木、山崎、全国地区支部委員、事務局  
     <日本スポーツ協会加盟プロジェクト>担当長/宮城島 委員/竹村、菊池

**<大会・イベント>**

- A) **全日本アンダー23** 実行委員長/潮木 副実行委員長/関東学連委員長
- B) **全日本ジュニア** 実行委員長/小川 委員/佐野、横田、西村、吉留、学連、ジュニア委員
- C) **マスターズカーニバル** 実行委員長/齋藤 委員/実行委員会
- D) **全日本選手権** 実行委員長/大根田 副委員長/宮城島、(岡部)  
     実行委員/潮木、小幡、日向、神谷、梶田、河原、野々口、他
- E) **ジャパンジュニアオープン** 実行委員長/佐野 委員/小川、横田、西村、吉留、学連  
     選手強化委員 神谷(海外対応)
- F) **ワールドスカッシュデー・スカッシュウィーク** 実行委員長/宮城島 副委員長/青柳  
     委員/事務局、全国地区支部委員
- G) **エアースカッシュ** ⇒エアースカッシュ委員
- H) **協会創立50周年記念事業** 委員長/岡部 記念誌/宮城島、若月、神谷、梶田
- I) **中期計画策定チーム**/植松
- J) **WMG2021 関西** /日向、出口、神谷、植松

**<事務局>** 事務局長/神谷 事務局長補佐/江川 事務局員/梶田、濱地

◆ **ガバナンス・インテグリティ専門委員会** ◎は理事会承認が必要、開催は随時

- ◎ **コンプライアンス委員会** 委員長/会長、担当/副会長、山岸、友清、十川、常務理事
- ◎ **倫理委員会** 委員長/会長、担当/副会長、山岸、友清、常務理事
- ◎ **役員候補者選考委員会** 委員長/会長 担当/副会長、顧問(若干名)山岸、友清

公益社団法人日本スカッシュ協会運営規則の一部変更

運営規則変更の新旧対照表

新 (変更後)	旧 (変更前)
<p>第3章 役員・常務理事・運営委員 (運営委員)</p> <p>第8条</p> <p>1 常務理事を補佐するため運営委員を置く。運営委員は業務上必要とする若干名にとどめ、何れかの専門委員会に属しその任に当たる。</p> <p>2 (削除)</p> <p>2 運営委員は、各地区支部及び都府県支部の代表者及び団体役員並びに学連の代表者のうちから常務理事会の推薦する者若干名と会長が推薦する者若干名を理事会の決議によって選任する。</p> <p>3 各専門委員会の委員長は、常務理事、理事又は運営委員をもって充てる。</p> <p>第4章 専門委員会 (専門委員会)</p> <p>第10条</p> <p>1 事業遂行に必要な専門的事項を処理するため次の専門委員会をおき、所管事項について立案・審議し、理事会の承認を得た上でその内容を実施する。</p> <p>① 規則公認委員会 ② 選手強化委員会 ③ <u>コーチ委員会</u> ④ 競技委員会 ⑤ <u>レフリー委員会</u> ⑥ 総務委員会 ⑦ <u>地区支部対策委員会</u> ⑧ <u>広報委員会</u> ⑨ <u>学連委員会</u> ⑩ 普及渉外委員会</p> <p>6 顧問は、会長又は専門委員会の委員長の要請があれば、その専門委員会に出席し、発言することができる。</p> <p>(選手強化委員会)</p> <p>第12条 選手強化委員会は次の事項を所管する。</p> <p>① 海外大会日本代表選手の選考。</p>	<p>第3章 役員・常務理事・運営委員 (運営委員)</p> <p>第8条</p> <p>1 常務理事を補佐するため運営委員を置く。運営委員は業務上必要とする若干名にとどめ、何れかの専門委員会に属しその任に当たる。</p> <p>2 常務理事と運営委員とは協力して運営委員会を構成し、運営委員は常務理事を補佐する。</p> <p>3 各専門委員会の委員長はすべて運営委員に任じ、加えて各地区支部及び都府県支部の代表者及び団体役員並びに学連の代表者のうちから理事会の推薦する者若干名と会長が推薦する者若干名が会長の任免の下に運営委員になる。</p> <p>第4章 専門委員会 (専門委員会)</p> <p>第10条</p> <p>1 事業遂行に必要な専門的事項を処理するため次の専門委員会をおき、所管事項について立案・審議し、理事会の承認を得た上でその内容を実施する。</p> <p>① 規則公認委員会 ② 選手強化委員会 ③ 競技委員会 ④ 総務委員会 ⑤ 普及渉外委員会</p> <p>6 会長の指示があれば顧問は各専門委員会に出席、発言する</p> <p>(選手強化委員会)</p> <p>第12条 選手強化委員会は次の事項を所管する。</p> <p>① 海外大会日本代表選手の選考。</p>

- ② ナショナルチームの選手強化に関すること。
- ③ ジュニアの選手強化に関すること。
- ④ マスターズの選手強化に関すること。
- ⑤ 学生の選手強化に関すること。
- ⑥ スポーツ医学に関すること。
- ⑦ アンチ・ドーピングに関すること。

(コーチ委員会)

第 13 条 コーチ委員会は次の事項を所管する。

- ① コーチ制度及び育成に関すること。

(競技委員会)

第 14 条 競技委員会は次の事項を所管する。

- ① 大会運営に関すること。
- ② 大会管理に関すること。

(レフリー委員会)

第 15 条 レフリー委員会は次の事項を所管する。

- ① 審判制度及び育成に関すること。

(総務委員会)

第 16 条 総務委員会は次の事項を所管する。

- ① 会員管理に関すること。
- ②
- ③ 財務経理に関すること。
- ④ 事務局に関すること。
- ⑤
- ⑥ 総合的企画運営に関する事。
- ⑦ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整に関すること。
- ⑧ アスリート委員会の設置と活動に関すること。

(地区支部対策委員会)

第 17 条 地区支部対策委員会は次の事項を所管する。

- ① 地区支部組織の充実に関すること。

(広報委員会)

第 18 条 広報委員会は次の事項を所管する。

- ① 協会の広報・PR および機関誌に関すること。

(学連委員会)

- ② ナショナルチームの選手強化に関すること。
- ③ ジュニアの選手強化に関すること。
- ④ マスターズの選手強化に関すること。
- ⑤ 学生の選手強化に関すること。
- ⑥ スポーツ医学に関すること。
- ⑦ コーチ制度及び育成に関すること。

(新設)

(競技委員会)

第 13 条 競技委員会は次の事項を所管する。

- ① 大会運営に関すること。
- ② 審判制度及び育成に関すること。

(新設)

(総務委員会)

第 14 条 総務委員会は次の事項を所管する。

- ① 会員管理に関すること。
- ② 地区組織の充実に
- ③ 財務経理に関すること。
- ④ 事務局に関すること。
- ⑤ 機関誌・広報に関すること。
- ⑥ 総合的企画運営に関する事。
- ⑦ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、各国協会、国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整に関すること。

(新設)

(新設)

(新設)

第 19 条 学連委員会は次の事項を所管する。

① 協会と学連の関係性に関すること。

(普及渉外委員会)

第 20 条 普及渉外委員会は次の事項を所管する。

- ① 大会等のスポンサー対策及びその増進に関すること。
- ② スカッシュの普及イベントに関すること。
- ③ 会員の増加のための活動に関すること。
- ④ 生涯スポーツとしてのジュニア・一般・マスターズの普及振興に関すること
- ⑤ 環境対策に関すること。
- ⑥ 日本スポーツ協会への加盟に関すること。

第 21 条 ← 第 16 条

1 本協会及び地区支部が主催又は公認する大会に、競技者として参加しようとする者は、…

第 22 条 ← 第 17 条

第 23 条 ← 第 18 条

第 8 章 細則

第 24 条 各種細則の制定、廃止については、常務理事会にて検討の上、原案を作成し、理事会の承認を得るものとする。

各種細則の内容の一部変更について、その変更が急を要し、理事会の承認を得ることが時間的に困難な場合には、事後に理事会の承認を求めらるものとする。但し、理事会の事後承認が得られなかった時は、その変更は効力を有しないものとする。

第 25 条 ← 第 20 条

第 26 条 ← 第 21 条

(普及渉外委員会)

第 15 条 普及渉外委員会は次の事項を所管する。

- ① 大会等のスポンサー対策及びその増進に関すること。
- ② スカッシュの普及イベントに関すること。
- ③ 会員の増加のための活動に関すること。
- ④ 生涯スポーツとしてのジュニア・一般・マスターズの普及振興に関すること
- ⑤ 環境対策に関すること。

第 8 章 細則

第 19 条 各種細則の制定、廃止については、運営委員会にて検討の上原案を作成し、理事会の承認を得るものとする。

各種細則の内容の一部変更について、その変更が急を要し、理事会の承認を得ることが時間的に困難な場合には、事後に理事会の承認を求めらるものとする。但し、理事会の事後承認が得られなかった時は、その変更は効力を有しないものとする。

令和 3 年 5 月 23 日

## 公益社団法人日本スカッシュ協会特定資産積立金に関する内規

公益社団法人日本スカッシュ協会

### (目的)

第1条 公益社団法人日本スカッシュ協会（以下「JSA」という。）は、公益目的事業及び協会運営の安定的な実施・遂行をはかるとともに、重点事業・企画等への支出にも速やかに対応できるようにするため、基本財産とは別に特定資産（以下「特定資産」という。）を積み立てることができることとし、この内規は特定資産の積立及び使用等について規定する。

### (特定資産の積立)

第2条 JSA は以下の用途のために特定資産を積み立てることができる。

- (1) 公益事業（大会開催）引当
- (2) トレーニングセンター建設引当
- (3) スポーツラボ引当
- (4) 退職給付引当
- (5) 感染防止対策等引当
- (6) その他 JSA が必要と認めた用途の引当

### (原資)

第3条 特定資産の原資は、既に特定資産として積み立てられているもののほか、経常会計からの繰入をもって充てる。

### (積立等の決定)

第4条 特定資産の積立項目の設定又は廃止、積立、使用又は取崩し（経常会計への繰入）は理事会の承認を要する。

### (付則)

1. 当内規の改廃は、理事会の議決を経なければならない。
2. この内規は、令和3年5月23日より施行する。



## 競技別実施要項

※2021年6月21日時点の内容のため、エントリー時には最新の内容をご確認ください。

## スカッシュ



- 1 主催 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会  
「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」京都市実行委員会
- 2 共催 公益社団法人日本スカッシュ協会
- 3 主管 公益社団法人日本スカッシュ協会
- 4 期日 2022年5月18日（水）から5月28日（土）まで（競技日数10日間）

開催日	開催時間	開催内容
5月18日（水）	13:00～18:00	公式練習及び予備日
5月19日（木）	10:00～18:00	1回戦 30+～50+（レクレーション男女 50+は24日から）
5月20日（金）	10:00～18:00	2回戦 30+～50+（レクレーション男女 50+は24日から） プレート（敗者復活）戦
5月21日（土）	10:00～18:00	3回戦 30+～50+（レクレーション男女 50+は24日から） プレート（敗者復活）戦
5月22日（日）	10:00～17:00	準決勝 30+～50+（レクレーション男女 50+は24日から） プレート（敗者復活）戦
5月23日（月）	10:00～18:00	決勝 30+～50+（レクレーション男女 50+は24日から） プレート（敗者復活）戦
5月24日（火）	10:00～18:00	1回戦 レクレーション男女 50+、55+～80+
5月25日（水）	10:00～18:00	2回戦 レクレーション男女 50+、55+～80+ プレート（敗者復活）戦
5月26日（木）	10:00～18:00	3回戦 レクレーション男女 50+、55+～80+ プレート（敗者復活）戦
5月27日（金）	10:00～18:00	準決勝 レクレーション男女 50+、55+～80+ プレート（敗者復活）戦
5月28日（土）	10:00～18:00	決勝 レクレーション男女 50+、55+～80+ プレート（敗者復活）戦

※ 参加申込状況により、競技日程、会場を変更することがある。

## 5 会場

- (1) 京都スカッシュパーク（仮称・2022年4月竣工予定）  
（〒601-8204 京都府京都市南区久世東土川町2-4-2）
- (2) 京都テルサ  
（〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町7-0）



## 6 募集枠

310人

## 7 競技上の規定及び試合方法

### (1) 競技規則

世界スカッシュ連盟（WSF）の競技規約及び本大会申し合わせ事項による。

### (2) テクニカルデリゲート

公益社団法人 日本スカッシュ協会 常務理事 日向 孝知

### (3) 大会ルール

ア 人数により、トーナメント方式若しくはリーグ戦方式のラリーポイント制（PAR11）ベストオブ5ゲームマッチとする。

ただし、プレート（敗者復活）戦はベストオブ3ゲームマッチとする。

イ プレート（敗者復活）戦を実施する。

ウ 原則1人最低3試合を実施する。

エ 3位決定戦については、実施しない。

オ 参加者数が少ない場合は、カテゴリーを統合する。

### (4) 大会使用ボール

DUNLOP XX（世界スカッシュ連盟（WSF）公認）

(5) 参加者がレフリーを行う。ただし、参加者によるレフリーの実施が困難な場合は、本部が行う。

(6) 各年齢カテゴリーのエントリー人数により1日2試合実施する場合があります。

(7) エントリー状況及び主催者判断により試合会場・試合形式を変更することがあります。

## 8 実施種別

(一般部門)

性別	種別	競技レベル	年齢等カテゴリー
男子	—	A：オープンクラス	30+, 35+, 40+, 45+, 50+, 55+, 60+, 65+, 70+, 75+, 80+
		B：レクレーションクラス	30+, 35+, 40+, 45+, 50+, 55+, 60+, 65+, 70+, 75+, 80+
		C：チャレンジクラス	30+, 35+, 40+, 45+, 50+, 55+, 60+, 65+, 70+, 75+, 80+
女子	—	A：オープンクラス	30+, 35+, 40+, 45+, 50+, 55+, 60+, 65+, 70+, 75+, 80+
		B：レクレーションクラス	30+, 35+, 40+, 45+, 50+, 55+, 60+, 65+, 70+, 75+, 80+
		C：チャレンジクラス	30+, 35+, 40+, 45+, 50+, 55+, 60+, 65+, 70+, 75+, 80+

A- オープンクラス：国内大会の選手権大会、オープン大会へ参加されている方。

B- レクレーションクラス：フレンドシップレベルの大会へ参加されている方。

C- チャレンジクラス：大会参加経験が少ない方。

※ 30+カテゴリーは、WSF 基準外の特設カテゴリー。

※ C:チャレンジクラスは、WSF 規定外の特設クラス

※ 実際の年齢より若いカテゴリーでの参加は不可。



## 9 参加資格

世界スカッシュ連盟（WSF）への個人登録（SPIN）が必要。  
ただし、チャレンジクラスは個人登録（SPIN）不要。

## 10 一般部門に参加する障がいのある方への配慮について

この種目は、一般部門への障がいのある方の参加に配慮する。配慮の対象となる障がいの種別及び配慮の内容は以下のとおりとする。

### 聴覚障がいの方

#### ○掲示板等による情報配慮

競技状況等について、放送だけではなく掲示板にも表示する。

#### ○コミュニケーションボードの設置

コミュニケーションを円滑に図るため、コミュニケーションボードを設置する。

#### ○ビブス着用等による周知配慮

障がい種別を周知するためのビブス等を、希望者に配付する。

#### ○障がい選手補助者の同行

競技エリアへの障がい選手補助者の同行に、配慮する。

## 11 年齢基準

2022年5月19日時点の年齢が30歳以上(1992年5月19日以前に出生した者)

※ 世界スカッシュ連盟（WSF）の競技規約による。

## 12 表彰

メダルの対象は、競技レベルごとの各年齢カテゴリー別に1～3位(金・銀・銅)とする。  
カテゴリーを統合した場合も年齢カテゴリー別に表彰する。  
表彰式は、原則各カテゴリー決勝終了日に授与する。

## 13 参加料

### (1) 大会参加料金（税込・手数料込）

※ 詳細は、[ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 大会参加規約](#)を確認すること。

#### ① 競技出場者（基本料金：5種目参加可能）

ア 日本国外在住者 24,000円/人（関西地域内移動のための交通パス含む。）

イ 日本国内在住者 15,000円/人（上記交通パス含まない。別途オプション購入可。）

#### ② 競技関係者（基本料金）

ア 日本国外在住者 14,000円/人（関西地域内移動のための交通パス含む。）

イ 日本国内在住者 5,000円/人（上記交通パス含まない。別途オプション購入可。）

※ 障がい選手補助者（競技中に障がい者を補助する者）が、その補助を行うために競技参加する場合は、大会参加申込は不要、大会参加料金も無料とする（ただし、大会参加者キット、交通パス等が必要な場合は、競技関係者として

- 申込みこと)。
- (2) 特別追加料金 (エクストラフィー)  
なし
  - (3) 競技用具等のレンタル料金  
なし (競技用具等のレンタルは無し)

## 14 参加申込方法

パソコン又はスマートフォン等で、大会参加申込 (エントリー) 専用の公式ウェブサイト (エントリーシステム) から申し込むこと。

※ 詳細は、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 大会参加規約を確認すること。

## 15 参加上の注意

### (1) 服装について

世界スカッシュ連盟 (W S F) の競技規定に則る。

ア 男子は、襟付きあるいはゲームシャツ及び下は短パンを着用すること。

女子は、上下コーディネートされた服装で下は、短パン若しくはスコートを着用すること。

※ スパッツの着用は短パンあるいはスコートの下に着用であれば可能とする。

イ シューズは、室内履きのノンマーキングシューズを着用すること。

ウ タトゥーについて

利用施設ではタトゥーが見えた状態でのプレーやシャワーの利用を制限している。  
タトゥーが見えない配慮をすること。

### (2) 競技用具について

ア 専用ラケット

イ ノンマーキングシューズを着用すること

### (3) 保険

主催者側で傷害保険に加入するが、「競技出場者及び競技関係者」の「競技会場内において競技中に負った傷害」のみが対象であり、大会参加中のあらゆるリスクをカバーするものではないため、大会参加に必要な保険については、自らの責任と費用負担において加入すること。

※ 詳細は、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 大会参加規約を確認すること。

### (4) ドーピングコントロール

① 本競技会は、世界アンチ・ドーピング規程及び国際マスターズゲームズ協会規程に基づくドーピングコントロール対象大会である。

② ドーピング防止活動 (ドーピング検査及びドーピング防止教育啓発活動) は、国際マスターズゲームズ協会規程に従い実施する。

③ 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で国際マスターズゲームズ協会規程に従い、ドーピングコントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。詳細内容については、国際マスターズゲームズ協会規程を確認すること。

④ 本大会は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構と連携し、スポーツを通して次世代に多様なスポーツの価値を遺すため、クリーンなスポーツ、クリーンな

アスリートを守る活動として、アンチ・ドーピング活動を推進していくことを目的とする。

## 16 宿泊・交通申込

### (1) 宿泊

宿泊については、[大会ホームページ宿泊情報ページ](#)を参照のこと。

### (2) 交通

会場へのアクセスなどの交通情報については、[大会ホームページ交通情報ページ](#)を参照のこと。

## 17 その他

競技に参加（出場・関与）する前に大会受付と競技受付を行うこと。

### (1) 大会受付

大会受付は、オープニングビレッジ、各府県マスターズビレッジ、センタービレッジ、臨時大会受付会場にて行う。顔写真付きの本人確認書類を持参の上、競技出場の前日までに、参加者本人が行うこと（代理受付不可）。なお、団体競技やチームで参加する場合でも、参加者一人ひとりが大会受付を行う必要がある。

どの会場で大会受付を行っても問題ないが、会場によって受付期間・時間が異なるため、詳細は、[ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 大会参加規約](#)を確認すること。

### (2) 競技受付

#### ア 受付日時

各自の競技初日

#### イ 受付場所

各競技会場に設置の受付場所

### (3) 参加者交流パーティー

参加者間の懇親を図るため交流パーティーを実施する。

ア 開催日時 令和4年5月22日（日）19:00～21:00（予定）（競技4日目）

イ 開催場所 調整中

ウ 参加料金 1名6,000円程度を予定（家族等帯同者の参加も可）

エ 参加申込 エントリー時に参加確認を行う。参加料は当日徴収する。

オ その他 参加は任意とする。

## 日本スカッシュ協会中長期マネジメントビジョン計画

はじめに・・・

公益社団法人日本スカッシュ協会は1971年（昭和46年）に創立してから2021年で満50年を迎えました。競技の普及と発展向上を図るため、50年前に「日本スカッシュラケット連盟」として創立され、「日本スカッシュ連盟」「公益社団法人日本スカッシュ協会」と成長して参りました。その目的は現在まで変わることなく引き継がれております。しかし、その間には昭和、平成、令和へと、あるいは20世紀から21世紀と時代変化を経てまいりました。その過程では幾度かの難局がありましたが、それを乗り越え、今日、確固たる地位を保持しておりますことは、役員をはじめ、選手、会員、愛好者の皆様の競技に対する情熱と、そして本協会と共に寄せられたプレミアムパートナー様、協会各支部のご協力の賜物と深く感謝する次第です。

現在、スカッシュ競技を取りまく状況には厳しいものがあります。マイナースポーツ全般に共通することですが、運営資金の確保、競技施設の確保、競技団体としての倫理性・信頼性の向上、新型コロナウイルス感染症対策などなど、問題は山積しております。

これまでの歩みを振り返り、今後の更なる発展をめざす新たなスタートとなるために、今回新たに本協会の柱となるビジョンとミッションを策定致しました。

## 日本スカッシュ協会中長期マネジメントビジョン計画

### 本協会のビジョン

「To The Next Generation ～新しい時代の幕開け～」

目的：これまでの半世紀の活動に満足することなく、次の50年へ。  
そして本協会の意思を次世代へ引き継ぎ、継承・存続をしていく協会運営を行って参ります。

### 本協会のミッション

「B.R.I.D.G.E.～過去・現在・未来・・・次世代への架け橋」

Brightness（組織の見える化）

Renovation（新たな付加価値の創造）

Information（先進型情報配信技術の確立）

Discovery（次世代選手の発掘と新規会場の開拓）

Globalization（世界の一員としての組織と運営）

Education（選手教育及び教育機関との連携強化）

本協会は協会運営を次世代へ引き継ぐ架け橋的存在として、上記5項目を最重要指針事項と位置付け、また各項目の頭文字を「Bridge(架け橋)」と掛けて競技を愛する全ての皆様に応援し支えて頂ける団体として運営して参ります。

### Brightness：

「組織の見える化、透明性」

本協会は「理事会」「常務理事会」と「専門委員会」から構成されています。特に今回のミッションでは「専門委員会」をより細分化し業務運営の効率化を図ります。さらに会議決定された内容や経営管理関連情報等を公開し、組織の見える化、運営の公正・公平性をお示しします。また協会支援者の声を真摯に受け入れ、常に改善、発展的な運営を行うと共に協会の倫理性・信頼性の向上を目指します。

### Renovation：

「新たな付加価値の創造」

本協会は50年の歴史と伝統を尊重すると同時に、新しい社会潮流に合わせて様々な取り組みに挑戦して参ります。より多くの方々に「スカッシュ」という競技の魅力をスタイリッシュに伝え、多くの方に認知・普及させ、末永く愛し、支援して頂けるような大会、イベントを企画・開催していきます。

協賛、支援を頂けるよう、革新的な運営を常に計画、実行、評価、改善を繰り返し、より魅力ある、より信頼される協会を目指します。

#### Information :

##### 「先進型情報配信技術の確立」

本協会はスカッシュ競技を「見るスポーツ」「魅せるスポーツ」として確立させていきます。ホームページや SNS 等の既存の情報配信ツールも見直し、より迅速で正確な競技情報が配信できるシステムを構築します。併せて競技を魅力あるコンテンツとして取り上げて頂けるよう、各種メディアの活用と情報提供を積極的に行って参ります。また競技だけでなく、選手、愛好者に関する魅力あるコンテンツの作成や臨場感溢れる試合中継技術の向上も目指します。

#### Discovery :

##### 「次世代の選手発掘、競技会場の開拓」

本協会は国内にとどまらず、世界で活躍できる選手の育成に力を入れると共に、次世代の有望な選手の発掘、育成、支援していきます。また日本国内におけるスカッシュ競技場は民間総合運動施設（スポーツクラブ）内の付帯施設として運営されているのが主流です。本協会はこれらの運営施設を支えると共に、新たな競技施設の建設を検討されている団体に対し可能な限りサポートができる体制を目指します。

#### Globalization :

##### 「世界の一員としての協会」

本協会は世界スカッシュ連盟（WSF）、アジアスカッシュ連盟（ASF）、日本オリンピック委員会（JOC）の加盟団体です。世界の一員であるという自覚を持ち、日本におけるスカッシュ競技に携わる全ての方々と世界を繋ぐ架け橋的存在としての運営を目指します。

#### Education :

##### 「選手育成と委員のスキル向上」

本協会は次世代へ繋ぐ架け橋として競技に関わる全ての若者を支援していきます。また仕事と競技の両立を目的としたデュアルキャリア支援、国際社会の中の日本人としての人間力向上を目的とした教育活動も行なって参ります。そして各関連機関、学校等の教育機関との連携を強化して参ります。さらに協会役員の情報リテラシーをはじめ、競技運営の更なるスキル向上を目指す研修会を適宜開催し、世界基準に則した協会運営を目指します。

